

広告特集

企画・制作 朝日エージェンシー西部

第57回日本胸部外科学会 九州地方会総会

3分野(心臓血管外科・呼吸器外科・食道外科)の知識を集約・連携し高め合う

胸部外科の未来

主に心臓血管外科、呼吸器外科、食道外科から構成される「胸部外科」。それぞれが密接に関連し、手術ではお互いの連携・協力が欠かせません。

第57回日本胸部外科学会九州地方会総会(8月1日・2日)開催を前に会長、副会長らに胸部外科の代表的な疾患と、若手医師の教育、ハラスメント対策について伺いました。

治らないがんではなくなった!? 「肺がん」

日本人の死因の第1位はがん、部位別みると「肺がん」による死亡数が最も多くなっています(※)。肺がんは



第57回日本胸部外科学会九州地方会総会 会長 産業医科大学病院 病院長 産業医科大学医学部 第二外科学 教授

田中 文啓 氏

治療が難しいがんといわれてきましたが、今、肺がんの治療は日々進化しています。中でも、ここ最近の大きなトピックスといえるのが、切除する肺の範囲を少なくする区域切除と周術期治療の進歩です。最近ではCTの発達などによって本当に小さいがんが見つかるようになってきました。さらに、以前はみんな同じような治療をしていたのが、簡単な手術で済む人、通常の手術が必要な人、通常の手術にさらに手術後に治療を加えないといけない人、いきなり手術しても治らないので手術前に治療をしてから手術をする人というように、患者さんの状態に応じて治療法がより細かくなってきました。それによって、早期であれば区域切除で肺葉を温存できるし、ある程度がんが進行していても周術期治療の進歩によって手術が可能で、また、今までなら喫煙によって肺活量が少なく手術できなかった患者さんも、小さな切除であれば手術ができます。つまり、肺がんになっても治療を諦めない時代になっているのです。

胸部外科は3分野に分かれています。臓器としては近接していることから、病態が関連していることもあります。高難度な手術や処置が必要な症例に対しては3分野の医師が診断や治療の力量を発揮するためには、専門分野以外の知識の習得が必要となる場合が多いと思います。

今回の大会テーマは、「つなぐ」心臓血管外科、呼吸器外科、食道外科の協働です。他科との合同手術や3分野で起る合併症への対策をテーマにして、それぞれの分野だけでは成し得ない治療や合併症対策を協働して行うことを検討できる学会にしたいと考えています。

※最新が統計より

きつい！がサインの心臓弁膜症が原因となる「心不全」

心不全とは、何らかの心臓疾患によって心臓が十分に働かなくなった状態の総称です。原因はたくさんありますが、外科に関連するもので一番多いのは心臓弁膜症、あとは虚血性心臓病で古い心筋梗塞いわゆる陳旧性心筋梗塞といわれているものです。



第57回日本胸部外科学会九州地方会総会 副会長 産業医科大学医学部 心臓血管外科 教授

西村 陽介 氏

心不全の代表的な症状は「きつい」です。動悸、息切れなども挙げられます。最近では高齢の方に多い病気になっていますが、きついというのは日常生活の中でよく感じることでしょう。心臓弁膜症や心不全だからきついのか、単に疲労がたまっているだけなのか、患者さん自身で判断するのは難しいかもしれません。そのため、疲れがなかなか取れない、ちよっとおかしいと思った時が受診のタイミングといえます。

心不全自体の治療は薬物療法ですが、原因が何かによって治療方針は全く変わります。弁膜症であれば、弁膜症は進行するばかりで薬では治りませんから、最終的には手術が必要になります。心筋梗塞は一度なると元には戻らないので、あとは薬で心不全の管理をするだけになってしまいます。いずれにしても、何かおかしいと思ったら気軽に医療機関に相談していただき、もし外科的な介入が必要であれば、いいタイミングで外科の治療を受けていただきたいと思います。あとは、いわゆる成人病が心不全の原因になることもあるので、生活習慣を見直すことも大事です。

食道、肺、心臓は隣接しているため、一番問題なのは悪性腫瘍の近接臓器への直接の浸潤です。いろいろな臓器に浸潤が及ぶと、手術のリスクは高くなり、手術自体も難しくなります。そのため、胸部外科が協働して手術を行うことが必要になります。特に大学病院は、他ではできないような症例を担っていく役割があると考えています。

命に関わるリスクが高く転移しやすい「食道がん」

食道がんは男女比でいうと男性に多く、主なリスクファクターは飲酒と喫煙です。発生率、死亡率は胃がん、大腸がん、肺がん



第57回日本胸部外科学会九州地方会総会 食道分野担当 産業医科大学医学部 第一外科学 准教授

柴尾 和徳 氏

などに比べると多くはありますが、転移しやすく、治る確率もあまり良くないため、早期発見、早期治療がより必要ながんといえます。治療法は、手術、放射線治療、抗がん剤(化学療法)、あとは内視鏡的治療があります。基本的に、早期がんは深さにもよりますが、手術、化学放射線治療、放射線治療のいずれか、または内視鏡で切除します。進行がんの場合は、手術もしくは放射線治療、化学療法を単独もしくは組み合わせで行う治療が今行われています。トピックスとしては、二つの免疫チェックポイント阻害薬が食道がんにも適用となり、効果が高いため、今までなら手術できなかった人が手術できるようになってきています。

食道は喉と胃につながっていて、胸の一番奥の背中側しかも心臓と肺の間にあります。加えて、食道がんはリンパ節転移しやすいがんなので、例えば食道の一番下の方のがんができて、上の方のリンパ節に転移することが多いので、食道をほとんど全部取らなければなりません。そのため、手術時間は最低でも8時間かかり、外科医も6人必要など、大変な手術となります。また、食道がんが心臓、肺の血管や大動脈に浸潤していることもあり、胸部外科の中では呼吸器外科や心臓外科と合同手術することが比較的多い分野です。胸部外科の各分野がお互い必要な時には声を掛け合っ、バックアップしています。

食道がんには検診がありませんが、胃がん検診の際に早期の食道がんが見つかることはあります。最近では、いろいろな治療法を組み合せたりすることで、昔に比べてより良い治療成績が出るようになってきます。さらに、患者さんにとっては非常に期待の持てる治療法の開発も進んでいますが、早期発見、早期治療のためにも検診には行っていただきたいと思っています。

医療現場におけるハラスメント対策

外科医にとって、手術の技術を磨くためには、先輩医師から教えてもらい学ぶことが欠かせません。以前は、手術を見て学べと言われましたが、手術自体が見えないことも時々あり、先輩がどんな手術をしているかを必死に見ようとして、手術の邪魔になったこともありました。今では内視鏡手術が発達し、医療スタッフ全員で手術の鮮明な画像を見ることができるようになりました。これは非常に革新的でした。そのような変化から、すでに20年以上が経過して、現在は過去の手術のビデオを見て学んだり、実際の手術の内視鏡画像を見て先輩医師からアドバイスをもらいながら、手術を進めることができるようになってきました。一方で、先輩医師から学ばなければ、手術の技術は伸びないのは今も昔も変わりません。また、外科には徒弟制度のような感覚が残っているのも事実です。医療や手術の指導という理由のもと、厳しすぎる指導や人格を否定するような指導はハラスメントの対象となり、そのような指導を受けた医師は離職して、病院が衰退することは必至です。こうした状況を防ぐために、当科では、毎年ハラスメント対策の講義を行い、ハラスメントの内容やどのような指導がハラスメントに該当するかを反復して学ぶことにより、絶対にハラスメントを起こさない覚悟を持って診療にあたっています。



産業医科大学第二外科学 准教授

黒田 耕志 氏

医師の働き方改革が進められている時代において、医師が健全に成長できる環境を整えるためには、指導内容の振り返りと、職場における心理的安全性を確保することが非常に大切です。言い換えれば、指導する医師の後輩医師の成長を願う思いと、職場で言いたいことが話し合える関係性を築くことです。今回の学会では、外科医の指導とハラスメント対策の講演が企画されており、今後の外科医への指導の参考になることを祈念致します。

地域に根付いた医療をご提供します
社会医療法人北九州病院
北九州総合病院
救命救急センター
地域災害拠点病院
臨床研修病院
地域医療支援病院
院長 永田直幹
北九州市小倉北区東城野町1番1号
TEL 093-921-0560

医療法人社団 明愛会
大平メディカルケア病院
院長 吉田泰憲
北九州市八幡西区大平3-14-7
TEL 093-614-2101

医療法人社団 明愛会
小倉南メディカルケア病院
院長 窪田正幸
北九州市小倉南区葛原東2丁目14-2
TEL 093-473-1010

社会福祉法人 済生会支部
福岡県済生会
八幡総合病院
院長 古森公浩
北九州市八幡東区春の町5丁目9番27号
TEL 093-662-5211
http://www.yahata.saiseikai.or.jp/

社会医療法人 陽明会
小波瀬病院
院長 高橋治城
福岡県京都郡苅田町大字新津1598番地
TEL 0930(24)5211
http://www.youmeikai.jp

社会医療法人 財団 池友会
青山リハビリテーション病院
院長 矢野公一
北九州市八幡西区青山1-7-2
TEL.093-642-0070

医療法人 秋桜会
新中間病院
院長 矢毛石陽一
福岡県中間市通谷1丁目36-1
TEL.093-245-5501

医療型障がい児入所施設
療養介護施設
方城療育園 いきがい
HOJO RYOIKUEN IKIGAI
福岡県田川郡福町町4193番地15
TEL 0947(22)5888

気になる症状があれば
医療機関で相談を
(順不同)

特定医療法人 東筑会
東筑病院
理事長・院長 早川知宏
北九州市八幡西区八枝1-7-20
TEL 093(603)0111
https://www.touchiku-hospital.com

地域とともに真心を
医療法人 医和基会
戸畑総合病院
病院長 齋藤和義
北九州市戸畑区福柳木1丁目3-33
TEL 093-871-2760

地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立八幡病院
院長 岡本好司
〒805-8534 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番2号
TEL 093(662)6565 FAX 093(662)1796

医療法人 健愛会
健愛記念病院
院長 溝口義人
遠賀郡遠賀町大字木守1191番地
TEL 093-293-7090
https://www.kenai.or.jp/

国家公務員共済組合連合会
新小倉病院
病院長 塚本浩
北九州市小倉北区金田1丁目3番1号
TEL 093(571)1031